

2025年3月期 第1四半期決算

決算説明会

2024年7月26日

株式会社 トクヤマ



2025年3月期 第1四半期決算のポイント

- (株)エクセルシャノン連結除外の影響等により売上高は対前年同期比で減収。半導体関連製品需要は回復傾向にあるものの、本格回復は下期以降を見込む
- 石炭価格下落等による製造コスト減少により、営業利益は対前年同期比で増益
- 原燃料価格・為替等、先行き不透明であるものの、現時点では想定どおりの進捗であり、当期業績予想は据え置き

CONTENTS

- ① 2025年3月期 第1四半期決算
- ② 2025年3月期 業績予想
- ③ トピックス
- ④ 補足資料

① 2025年3月期 第1四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析



1. 決算概要

(億円)

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	848	825	△23	△3	エクセルシャノン連結除外 半導体関連製品回復遅れ
営業利益	51	75	+23	+46	製造コスト改善
経常利益	56	84	+27	+49	営業利益の増加
親会社株主に帰属する 四半期純利益	43	74	+30	+72	経常利益の増加 特別損益の改善*
1株当たり 四半期純利益 (円)	59.82	102.89	-	-	-
為替 (円/\$)	137	156	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	66,700	79,000	-	-	-

*特別利益：サン・トックス(株)の統合による交換差益、政策保有株式縮減による売却益

1. 決算概要

(億円)

	2024年3月末	2024年6月末	増 減	主要な変動要因
総資産	4,573	4,802	+229	現金及び預金の増加
自己資本	2,492	2,546	+53	親会社株主に帰属する 四半期純利益の積み上げ
自己資本比率	54.5%	53.0%	△1.5pt	-
有利子負債	1,057	1,211	+153	社債の発行
D/Eレシオ	0.42	0.48	+0.06	-
ネットD/Eレシオ*	0.23	0.18	△0.05	-
1株当たり純資産 (円)	3,464.47	3,539.22	-	-

*ネットD/Eレシオ：（有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託）／自己資本

2. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

(億円)

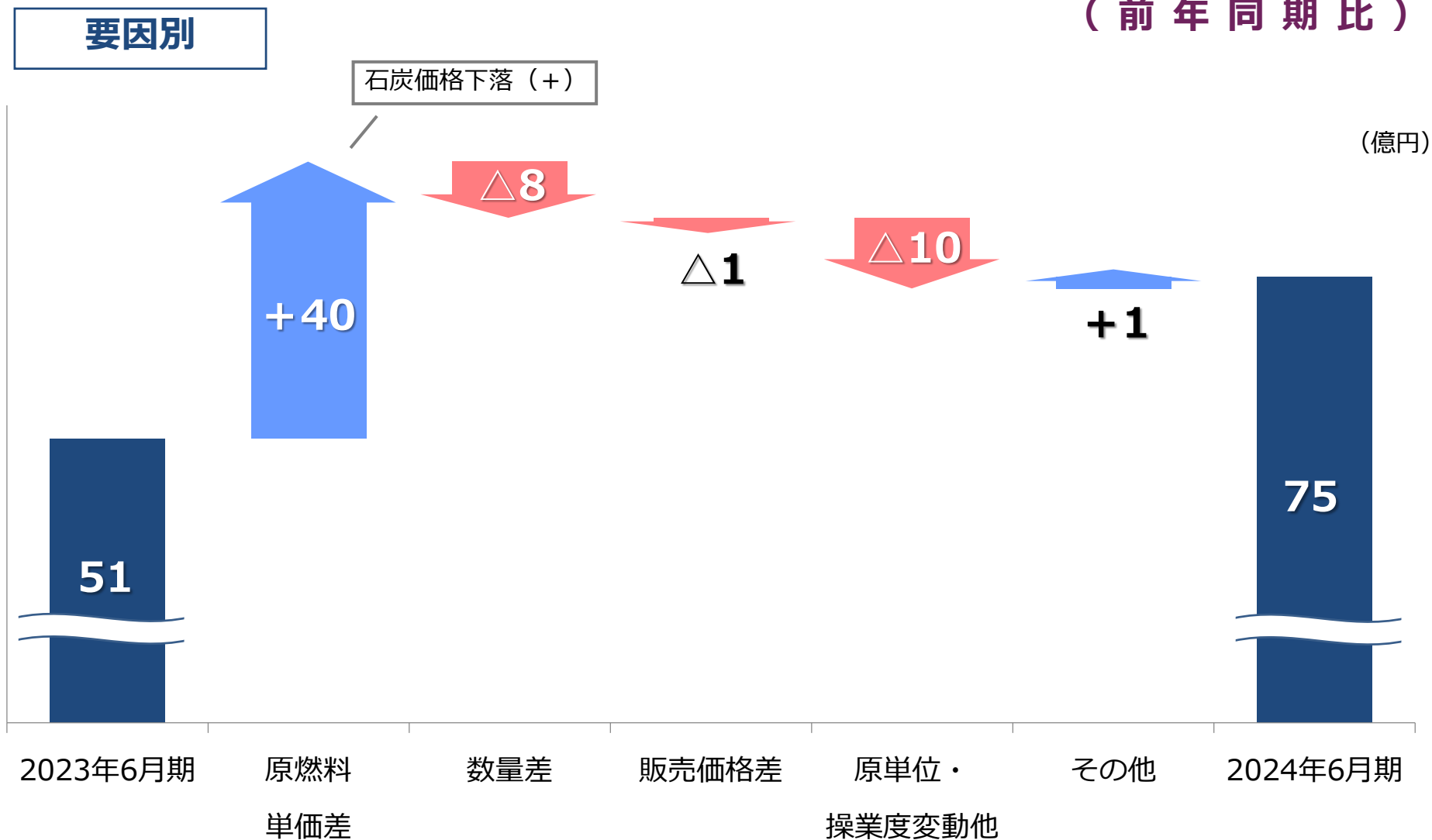
	2024年3月期 第1四半期		2025年3月期 第1四半期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	286	20	305	27	+18	+7	+6	+32
セメント	164	4	163	17	△1	△1	+13	+290
電子先端材料	183	7	178	19	△4	△3	+11	+161
ライフサイエンス	101	21	100	20	△0	△1	△1	△5
環境事業	27	△3	8	△1	△18	△68	+1	-
その他	111	9	92	12	△19	△17	+2	+22
計	875	61	849	96	△26	△3	+34	+57
セグメント間 消去・全社費用	△26	△9	△24	△21	+2	-	△11	-
連結決算	848	51	825	75	△23	△3	+23	+46

(注1) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

(注2) 当期・前年同期ともに報告セグメントの変更を反映した数値を記載

3. 営業利益増減分析

(前年同期比)



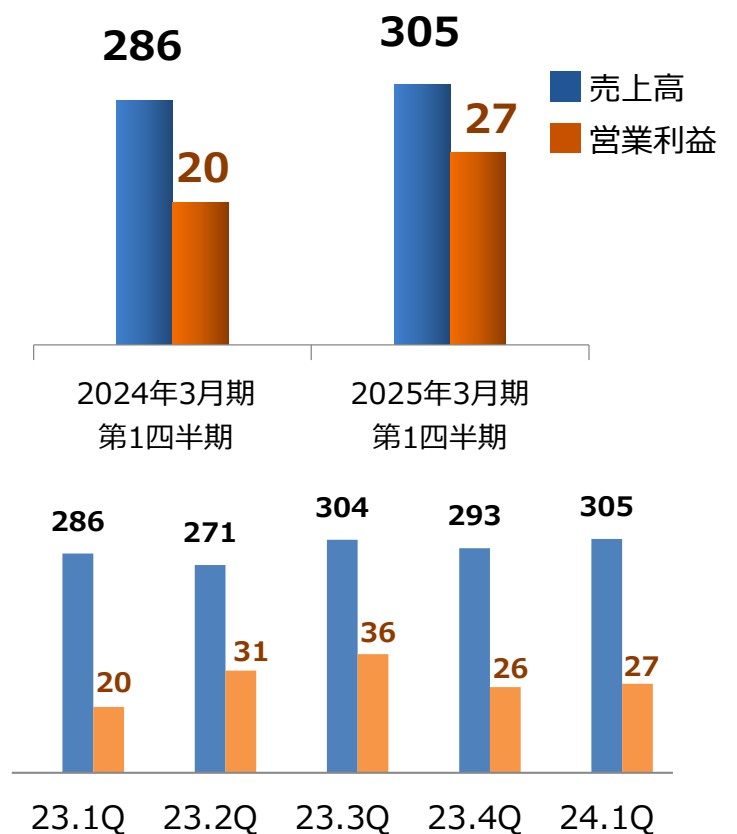
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

化成品

増収増益

定性情報

(億円)



(苛性ソーダ)

- ・国内の販売数量は前年同期並みだったものの、輸出数量の増加等により増益

(塩ビモノマー・塩ビ樹脂)

- ・塩化ビニルモノマーの輸出数量の増加はあったものの、製造コストが増加したこと等により、前年同期並みの業績

(ソーダ灰)

- ・販売数量が減少したこと等により減益

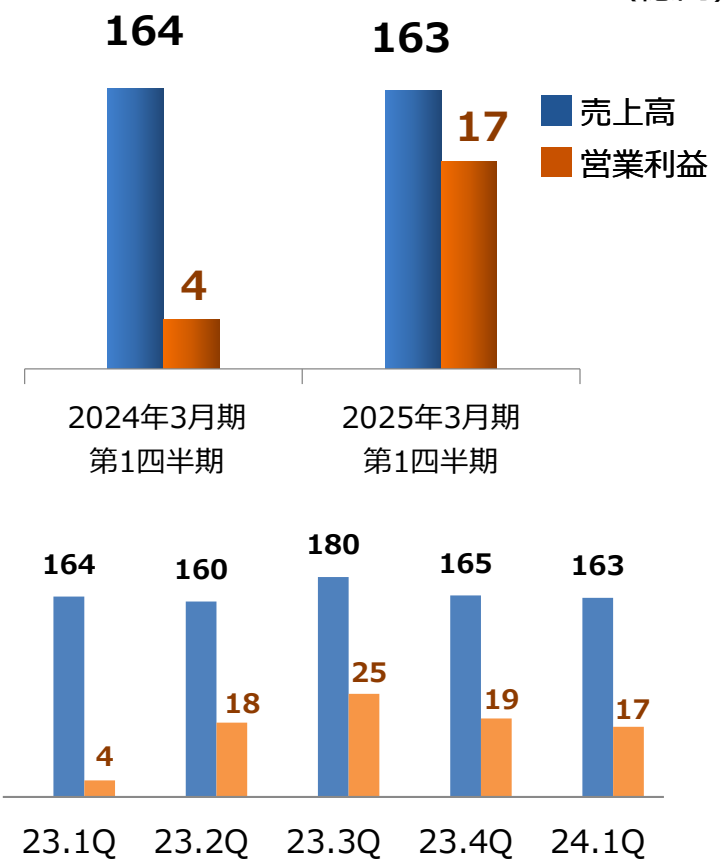
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

セメント

減収増益

定性情報

(億円)



(セメント)

- ・国内出荷は前年同期比で微減となったものの、製造コストの改善が進んだこと等により増益

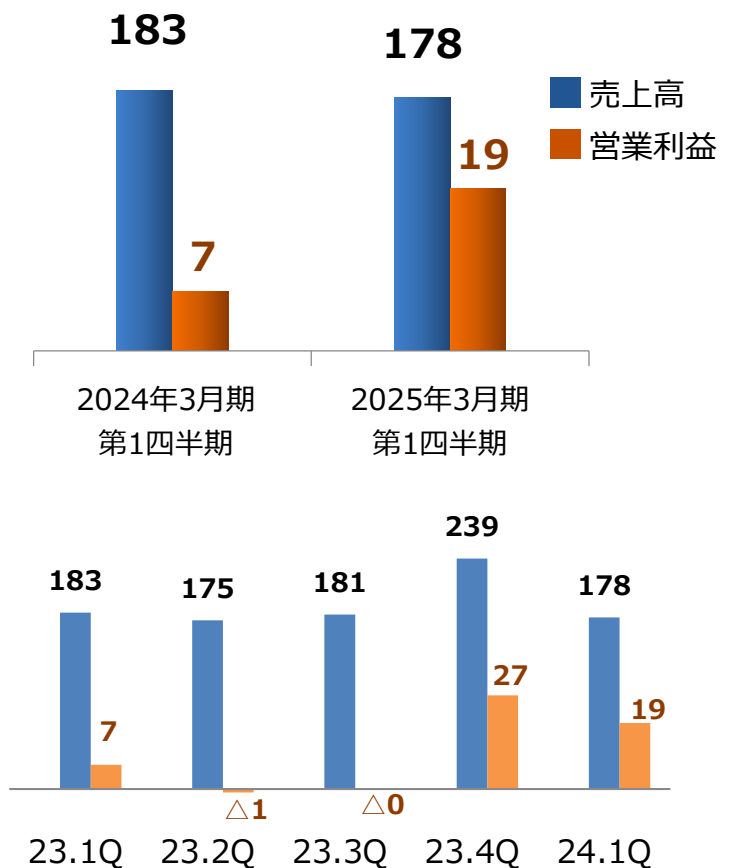
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

電子先端材料

減収増益

定性情報

(億円)



(半導体向け多結晶シリコン)

- ・半導体市場の低迷により販売数量は低調に推移したものの、製品ミックスの改善、及び棚卸資産評価損の戻入を計上したことにより増益

(ICケミカル)

- ・台塑徳山精密化学股份有限公司の稼働率向上により収益改善

(乾式シリカ)

- ・半導体市場及び中国景気の低迷の継続等により販売数量は低調に推移したものの、円安による為替影響やコスト削減等により増益

(放熱材)

- ・半導体製造装置向けの出荷が低調に推移したこと等により減益

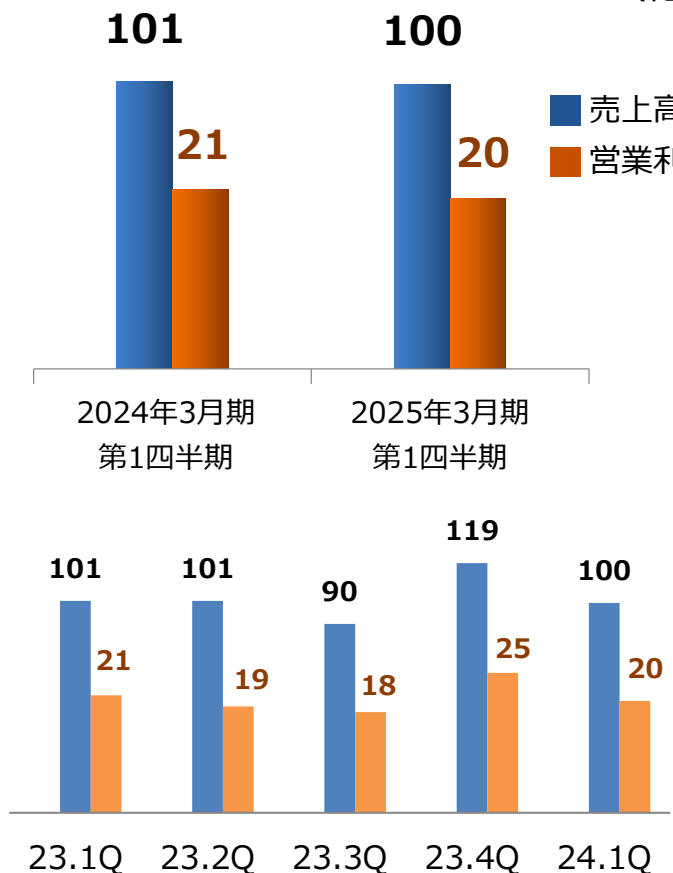
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

ライフサイエンス

減収減益

定性情報

(億円)



(歯科器材)

・海外向けの出荷が増加したこと等により増益

(医療診断システム)

・臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの販売が減少したこと等により減益

(医薬品原薬・中間体)

・ジェネリック医薬品向けの販売数量が減少したことにより減益

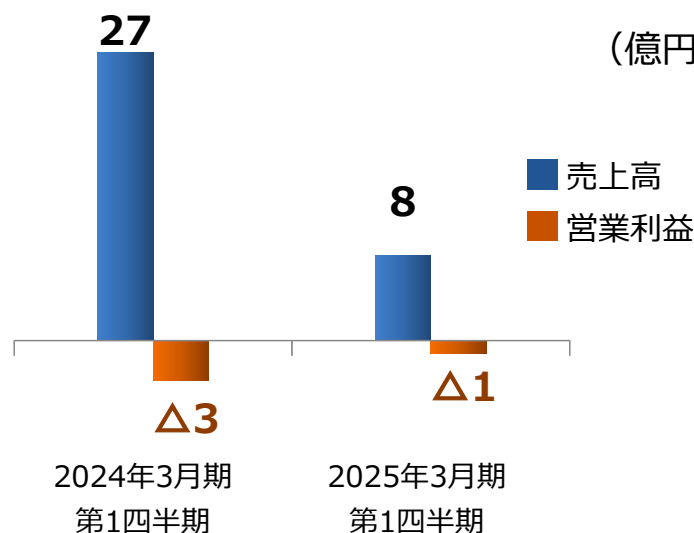
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

環境事業

減収赤字縮小

定性情報

(億円)



(イオン交換膜)

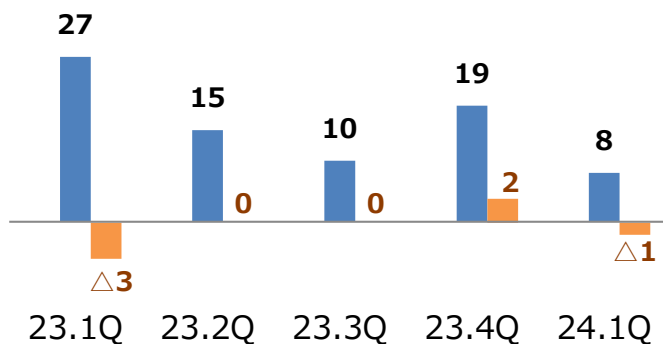
・出荷が減少したことにより減益

(廃石膏ボードリサイクル)

・廃石膏ボードの受入が堅調だったことにより
前年同期並みの業績

(樹脂サッシ)

・エクセルシャノンが持分譲渡により前2Qから連結除外



② 2025年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想



1. 業績予想

'24/4/26公表値を据え置き

(億円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,419	3,520	+100	+3	半導体関連製品の販売数量増
営業利益	256	330	+73	+29	半導体関連製品の販売数量増 製造コストの改善
経常利益	262	310	+47	+18	営業利益の増加
親会社株主に帰属する 当期純利益	177	250	+72	+41	経常利益の増加
1株当たり 当期純利益 (円)	246.72	347.48	-	-	-
為替 (円/\$)	145	1Q実績 : 156 2-4Q前提 : 150	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	69,100	1Q実績 : 79,000 2-4Q前提 : 73,000	-	-	-

2. セグメント別業績予想

'24/4/26公表値を据え置き

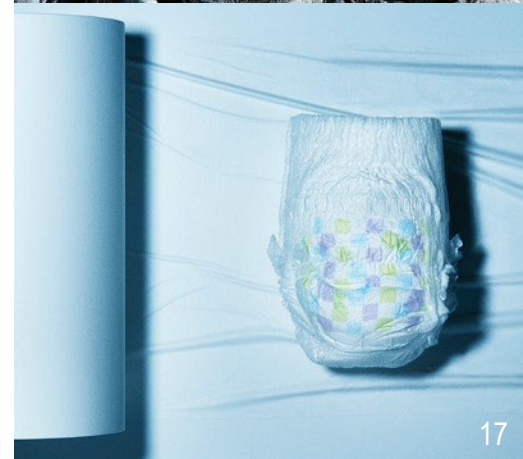
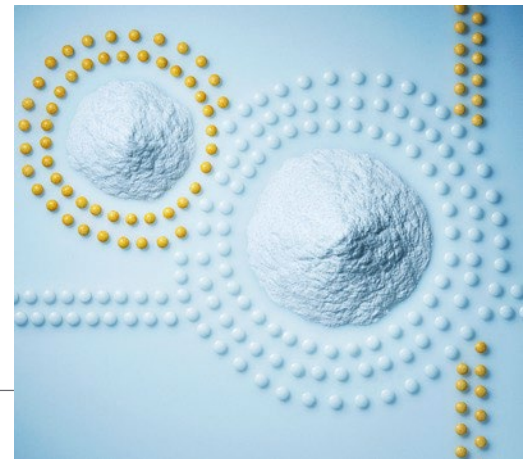
(億円)

	2024年3月期 実績		2025年3月期 予想		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	1,155	115	1,200	135	+44	+4	+19	+17
セメント	671	67	670	80	△1	△0	+12	+19
電子先端材料	779	33	865	70	+85	+11	+36	+109
ライフサイエンス	414	84	430	90	+15	+4	+5	+6
環境事業	73	△1	60	0	△13	△19	+1	-
その他	436	14	410	30	△26	△6	+15	+103
計	3,532	314	3,635	405	+102	+3	+90	+28
セグメント間 消去・全社費用	△112	△57	△115	△75	△2	-	△17	-
連結決算	3,419	256	3,520	330	+100	+3	+73	+29

(注) 各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

③ トピックス

1. 価格改定
2. 歯科器材の販売拠点強化



1. 価格改定

物流費・労務費上昇、維持更新投資、環境対策投資等のコスト増加への対応策として、販売価格改定を実施

対象製品	国内向けセメント及び セメント系固化材	PVC（汎用・ペースト）
打ち出し日	2024年7月26日	2024年6月18日
価格改定金額	2,100円／トン以上	18円／kg以上
実施日	2025年4月1日出荷分から	2024年7月1日出荷分から

③ トピックス

2. 歯科器材の販売拠点強化

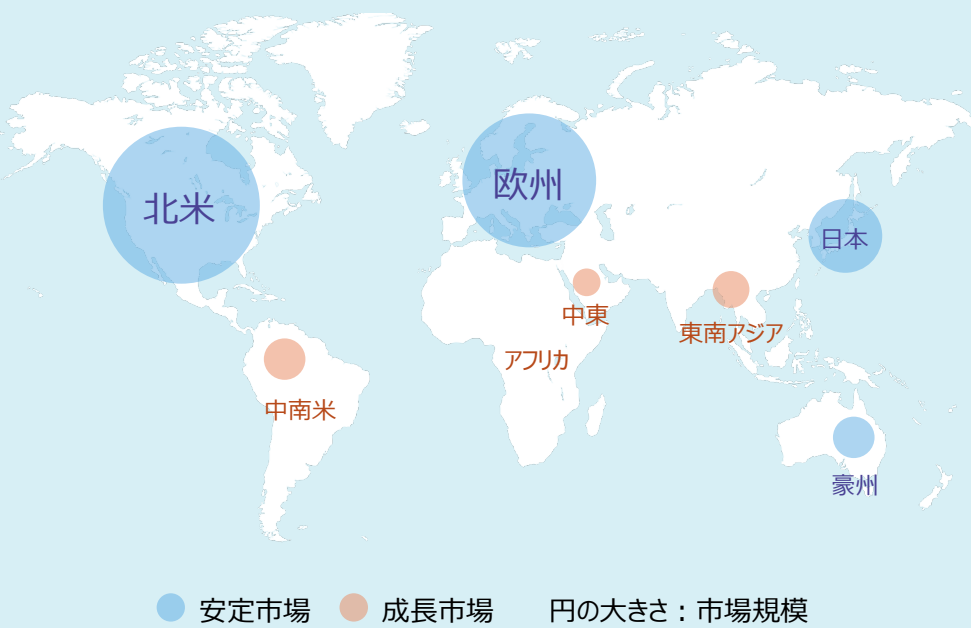
トクヤマデンタル 欧州拠点再編→販売体制強化・拡販へ

・欧州での販売2拠点を完全子会社化

2023年4月：ドイツ（トクヤマデンタル・ドイツ）

2024年6月：イタリア（トクヤマデンタル・イタリー）

世界の歯科器材(コンポジットレジン)の市場規模イメージ



北米

- コンポジットレジンの更なるシェア拡大(シェア10%超へ)
- ブランドの認知度向上→製品ラインナップ強化

欧州

- 地域全体でのシェア拡大
- 販売体制再構築による営業体制拡充

日本・アジア

- デジタル歯科分野の加速
- 中国市場調査継続
- アジア需要開拓促進

中南米

- 修復材料(コンポジットレジン・接着材)の需要深耕
- 審美用コンポジットレジン市場の開拓加速

アフリカ

- 参入検討継続

R&D

- デジタル歯科分野への研究開発推進
- CAD/CAM事業拡大と3Dプリンター市場への本格参入

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 

④ 補足資料

1. 連結財務諸表（要約）
2. 業績推移



1. 連結財務諸表（要約）

損益計算書

（億円）

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	差 損 益	
			金額	%
売上高	848	825	△23	△3
売上原価	609	556	+52	+9
販管費	187	193	△5	△3
営業利益	51	75	+23	+46
営業外損益	5	9	+4	+80
経常利益	56	84	+27	+49
特別損益	6	32	+26	+428
税前四半期純利益	62	116	+53	+86
法人税等	20	43	△23	△112
非支配株主損益	△0	△1	+0	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	43	74	+30	+72

（注）差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

1. 連結財務諸表（要約）

貸借対照表

（億円）

	2024年3月末	2024年6月末	増減	
			金額	%
資産合計	4,573	4,802	+229	+5
流動資産	2,177	2,369	+191	+9
有形固定資産	1,687	1,706	+19	+1
無形固定資産	34	36	+1	+5
投資その他の資産	673	689	+16	+2

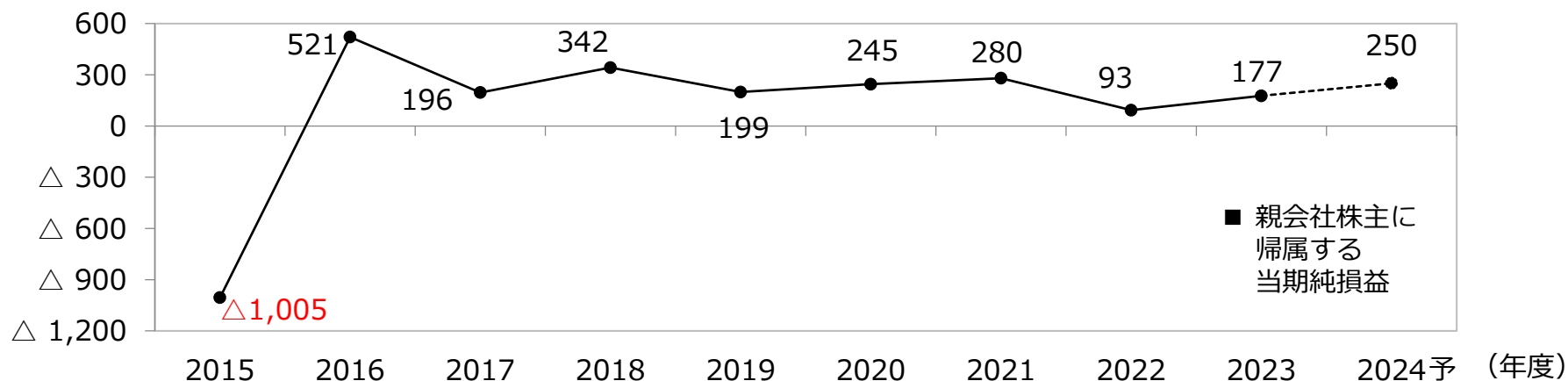
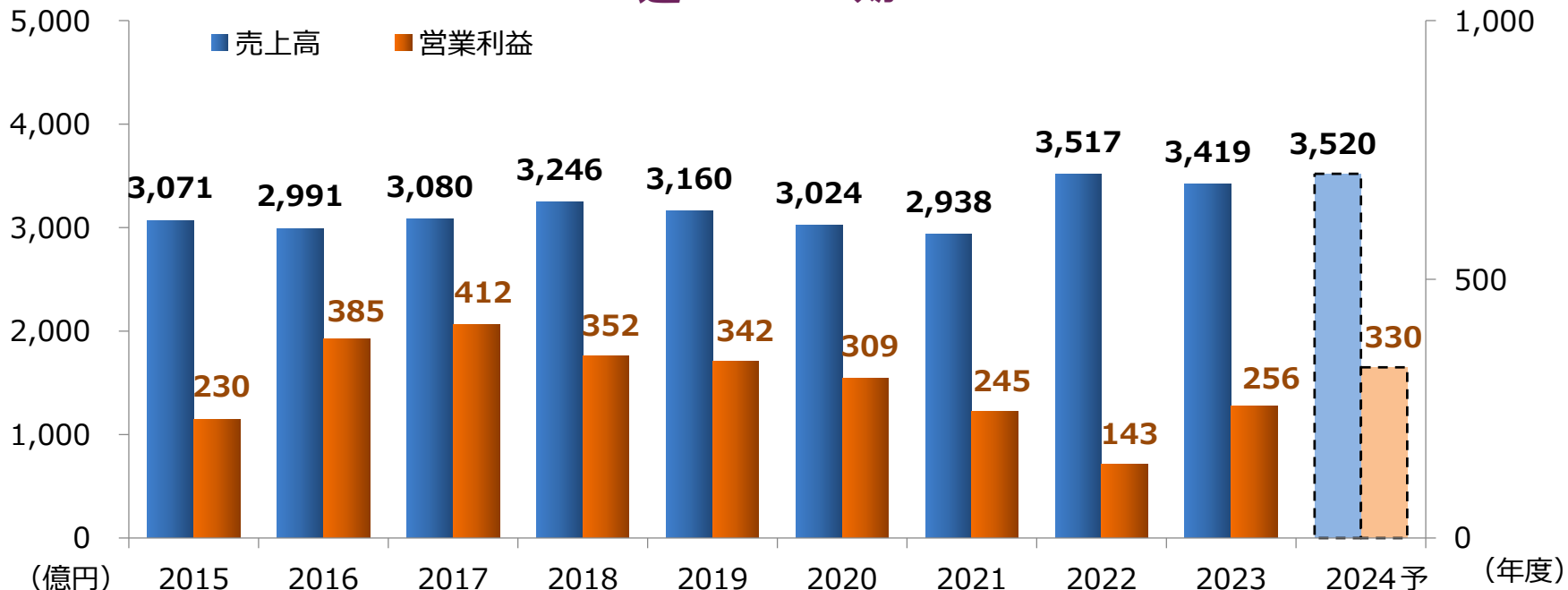
	2024年3月末	2024年6月末	増減	
			金額	%
負債合計	1,974	2,124	+150	+8
流動負債	1,039	979	△59	△6
固定負債	934	1,144	+209	+22
純資産合計	2,599	2,678	+78	+3

2. 業績推移

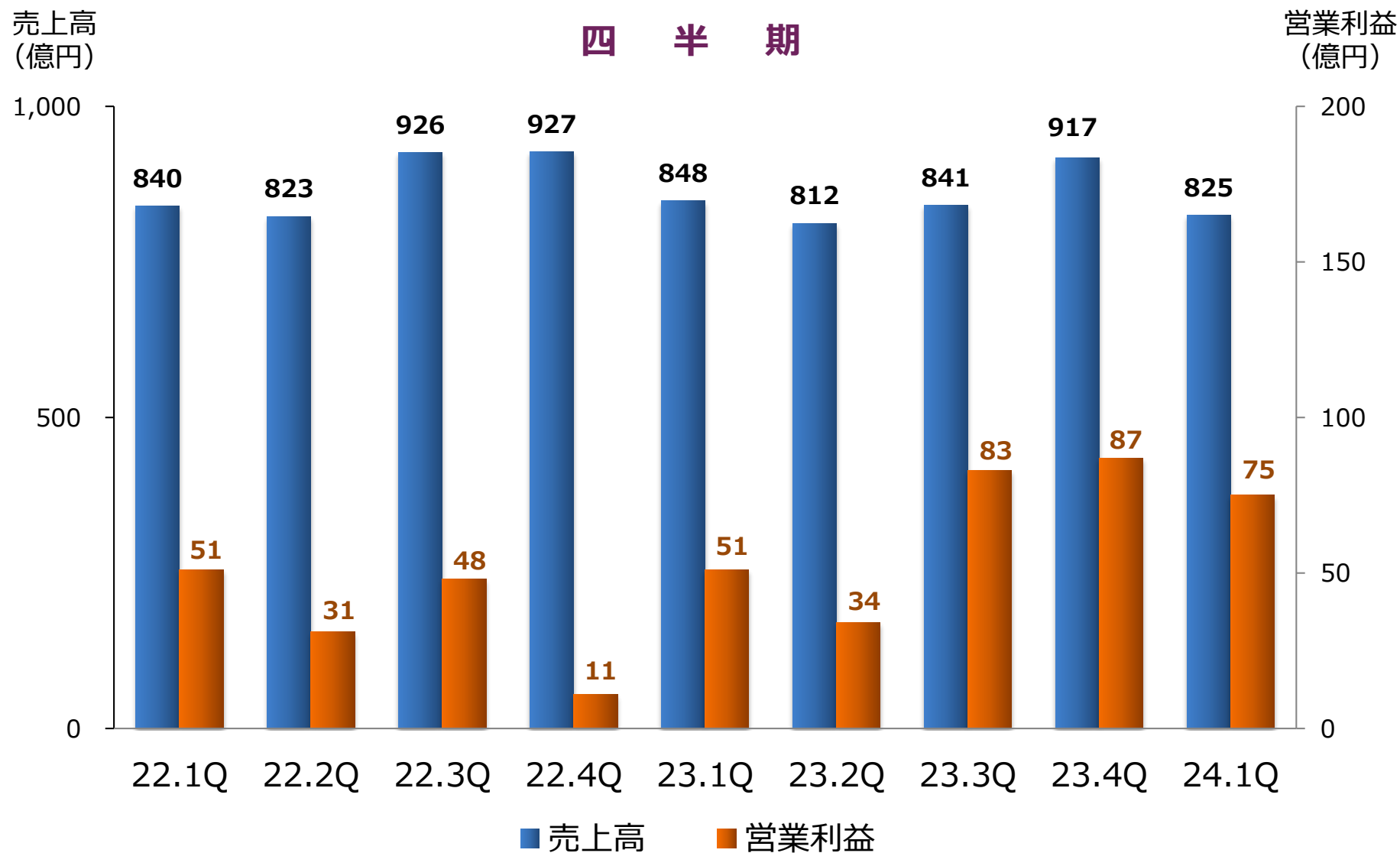
売上高 (億円)

営業利益 (億円)

通 期



2. 業績推移



本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 